



玉井 直 (たまい・すなお) 氏
静岡県立静岡がんセンター病院長
1975年京都大学医学部卒、麻酔科専攻。同大付属病院講師、国立療養所宇野病院院長を経て、2000年静岡県立がんセンター開設準備室、02年静岡がんセンター麻酔科部長。07年同センター副院長、11年1月病院長就任。現在も麻酔科部長を兼任。

がんを上手に治す

1981年に「がん」が日本人の死因第1位になりました。国は84年に「対がん10カ年総合戦略」を策定。同戦略が第二次を迎えたころ、県内でがんセンター設立構想が持ち上がりまし

がん治療の発展
がんセンター10年目を振り返って

開院当初からの基本理念は「患者さんの視点を重視する」です。その上で、「がんを上手に治す」「患者さん、ご家族を徹底して支援する」「成長と進化を継続する」

「よろず相談」という窓口を設置し、対面や電話での相談を受けています。この試みが評価され、先ごろ日本対がん協会から特別賞をいただきました。昨年度は県内外から約1万2千件の相談が寄せられました。

手術では当院が全国一の症例数です。医師が画像を見ながらロボットアームをコントロールすると、神経が入り組んでいる場所でも細かく正確な動きが可能なので、難易度が高い手術が行えます。現在は保険診療に

でなく、患者さんの視点に立つてどう治したいかを一緒に考え治療法を選択、提示しています。
新しいがん治療を求めて
放射線治療は、手術ができない部分や手術をすると食事や発声に障害が起きる場合や、手術の前がんを小さくしたり手術の効果を上げたりするために、当院では皮膚症が少なく、効率よく

静岡県立静岡がんセンター 病院長 玉井 直氏

がんを正しく恐れよう
～最新の治療とケア～

〈企画・制作／静岡新聞社企画事業局〉

静岡県立静岡がんセンター公開講座第9弾「がんを正しく恐れよう～最新の治療とケア～」(静岡新聞社・静岡放送、三島市民文化会館主催、県立がんセンター共催、スルガ銀行特別協賛、三島市、同市教育委員会後援)の第1回が9月22日、三島市民文化会館で開かれ、玉井 直病院長と小野裕之副院長が「がん治療の発展～がんセンター10年目を振り返って～」「胃がんの内視鏡治療～ITナイフ開発者の立場から～」をテーマに講演しました。その概要をお伝えします。

適切な治療法を選択

がんの治療はその目的に

く、わが国では一般的な胃がんの内視鏡治療も、外国ではほとんど行われていません。海外では大半の胃がんが、治療ができない段階でしか見つかることができないからです。最近、胃がんが減っているという統計結果が見られますが、これは統計上、高齢化など年齢構成の変化の影響を取り除く「年齢調整」をしているからで、実数は

数年に一度は内視鏡検診

胃がんの検診は、バリウムを使ったX線、胃カメラ、血液検査があります。X線は胃の全体像が分かりますが、白黒画像を読み解く専門知識・技術が問われます。胃カメラはありのままの胃の様子をカラーで確認できるほか、検査時に疑わしい組織を採取できる利点があります。当院では検査時に鎮静剤を使って苦しさを軽減していますので、数年に一度は胃カメラ検診も取り入れると効果的です。

増えていることを認識してください。特に60代から70代が高発年齢なので、40代を過ぎてからは定期的な検診が必要です。早期胃がんは特有の症状がありません。胃痛、膨満感、訴えて受診し、胃がんが見つかるケースもありますが、これらは食べ過ぎやストレスでも起こりうる症状です。進行胃がんでは体重が減ったり、嘔吐したりといった症状がでますが、

適切な治療法を選択
がんの治療はその目的に
く、わが国では一般的な胃がんの内視鏡治療も、外国ではほとんど行われていません。海外では大半の胃がんが、治療ができない段階でしか見つかることができないからです。最近、胃がんが減っているという統計結果が見られますが、これは統計上、高齢化など年齢構成の変化の影響を取り除く「年齢調整」をしているからで、実数は

血液検査はピロリ菌と萎縮性胃炎の程度を調べるペプシノーゲン検査を組み合わせます。胃がんの原因となるピロリ菌と、がんを起しやすいう萎縮性胃炎が両方確認できれば、胃がんのリスクが高いと判断します。胃がん予防のためにピロリ菌の除菌治療があります。60代を過ぎ、すでに萎縮性胃炎が起っている年齢に対して除菌をすると、胃酸が増えることによる「逆流性胃炎」になり、食道炎、肺炎を引き起こすことがあります。年齢や胃の状態に合わせた適切な治療を選びましょう。腫瘍マーカーはがんの有無を判断できますが、基本的には早期発見には向きません。

視鏡治療の利点は外科切除と比べ、後遺症が格段に少ないことです。胃を切り取ると、術後の食生活に影響が残りますが内視鏡治療では胃の形があまり変化しないため、食事が食べにくいなどの後遺症がほとんどありません。しかし、転移の

一括で切除できるので治療の成績も高まっています。胃の粘膜下層を剥がすように切り取るこの技術を使って、現在では条件を整えれば、直径12センチものがんも切除が可能になりました。
最新の当院での内視鏡治療は、東京のがん研有明病院に次いで全国2位です。
がん予防の近道はありません。がんのリスクを高める主な要因は、喫煙、肥満、飲酒で、リスクを低くするためには野菜や果物を食べ、適度に運動することが有効です。
胃がんをはじめ、多くのがんが早期に発見すれば治る病気になっています。定期的な検診を習慣づけて、がんを発見したら、適切な治療を受けましょう。

胃がんの内視鏡治療
ITナイフ開発者の立場から

静岡県立静岡がんセンター 副院長兼内視鏡科部長 小野裕之氏

胃がんは、肺がん、乳がん、結腸・直腸がんに次いで、世界で4番目に多い(罹患率)がんです。また死因(死亡率)では第2位となっています。先日調査したポーランドとコロンビアでは胃がんの罹患率と死亡率はほぼ同じです。この地域では胃がんは命を落とす

以下となっています。わが国では胃がんの半分以上が治るといえます。これは早期発見と関わりが深

早期胃がんは特有の症状がありません。胃痛、膨満感、訴えて受診し、胃がんが見つかるケースもありますが、これらは食べ過ぎやストレスでも起こりうる症状です。進行胃がんでは体重が減ったり、嘔吐したりといった症状がでますが、

増えていることを認識してください。特に60代から70代が高発年齢なので、40代を過ぎてからは定期的な検診が必要です。早期胃がんは特有の症状がありません。胃痛、膨満感、訴えて受診し、胃がんが見つかるケースもありますが、これらは食べ過ぎやストレスでも起こりうる症状です。進行胃がんでは体重が減ったり、嘔吐したりといった症状がでますが、

胃がんの内視鏡治療
ITナイフ開発者の立場から
静岡県立静岡がんセンター 副院長兼内視鏡科部長 小野裕之氏

胃がんの内視鏡治療
ITナイフ開発者の立場から
静岡県立静岡がんセンター 副院長兼内視鏡科部長 小野裕之氏

胃がんの内視鏡治療
ITナイフ開発者の立場から
静岡県立静岡がんセンター 副院長兼内視鏡科部長 小野裕之氏



小野 裕之 (おの・ひろゆき) 氏
静岡県立がんセンター副院長兼内視鏡科部長
1987年札幌医科大学、同大第4内科科学講座入局91年より国立がんセンター(現国立がん研究センター)中央病院研修医、レジデント、チーフレジデントを経て97年同院内視鏡科部長。2002年静岡がんセンター内視鏡科部長。12年より副院長兼務。上海复旦大名堂教授。日本消化器内視鏡学会指導医。日本胃癌学会理事、同学会胃癌治療ガイドライン委員など。

早期胃がんは特有の症状がありません。胃痛、膨満感、訴えて受診し、胃がんが見つかるケースもありますが、これらは食べ過ぎやストレスでも起こりうる症状です。進行胃がんでは体重が減ったり、嘔吐したりといった症状がでますが、

早期胃がんは特有の症状がありません。胃痛、膨満感、訴えて受診し、胃がんが見つかるケースもありますが、これらは食べ過ぎやストレスでも起こりうる症状です。進行胃がんでは体重が減ったり、嘔吐したりといった症状がでますが、

早期胃がんは特有の症状がありません。胃痛、膨満感、訴えて受診し、胃がんが見つかるケースもありますが、これらは食べ過ぎやストレスでも起こりうる症状です。進行胃がんでは体重が減ったり、嘔吐したりといった症状がでますが、

早期胃がんは特有の症状がありません。胃痛、膨満感、訴えて受診し、胃がんが見つかるケースもありますが、これらは食べ過ぎやストレスでも起こりうる症状です。進行胃がんでは体重が減ったり、嘔吐したりといった症状がでますが、

早期胃がんは特有の症状がありません。胃痛、膨満感、訴えて受診し、胃がんが見つかるケースもありますが、これらは食べ過ぎやストレスでも起こりうる症状です。進行胃がんでは体重が減ったり、嘔吐したりといった症状がでますが、

質疑応答

タウンミーティング ◆質疑応答◆
事前や当日寄せられた質問を中心に質疑応答が行われました。紙面の都合により、本講座の内容に即した質問事項をまとめました。
Q がんとは何ですか。
玉井 体内のすべての細胞はそれぞれの目的に沿って細胞分裂して特定の臓器になりますが、目的なく無秩序に増殖するのが、がん細胞です。この増殖が正常な臓器に悪影響を与えてしまい、最後は命を奪うことにもなります。
Q 胃の手術後の抗がん剤治療による副作用が強い。術後の抗がん剤治療は再発率を下げる効果がありますが、がんの種類により使用する抗がん剤が決まっています。現在の抗がん剤で副作用がひどい場合は主治医に相談し量を減らすほか、一度投薬を休んだり、副作用の種類によっては、それを抑える薬もありますので使ってみることをお勧めします。抗がん剤治療方針についてのセカンドオピニオンは、主治医の紹介状があれば当院で提供可能です。よろず相談に電話をいただければ手順などを説明します。
山口